

レタス【一戸町】

産地探訪

一戸町奥中山では高冷地野菜に適した自然条件に着目し昭和39年頃からレタス栽培を始めた。昭和46年には県内初の野菜販売高1億円を達成。また、野菜真空予冷施設の県内初の導入など岩手県の野菜産地を牽引してきた。令和元年には4戸の農家がグローバルGAPの団体認証を取得した。



左から

おおたしる かずや
太田代 一也さん(41) 【一戸町・摺糠】
にしだて ゆたか
西舘 豊さん(40) 【一戸町・宇別】
むらた まさとし
村田 雅俊さん(42) 【一戸町・摺糠】

くどう とおる
工藤 享さん

【北部・奥中山営農経済センター奥中山地区担当課】

奥中山高原レタスとして、5月下旬から10月まで出荷しています。レタスは鮮度が大切なので、新鮮な状態を意識して出荷しています。また、期間を通して奥中山のレタスを味わってもらうため、安定出荷を心掛けています。

奥中山高原レタスは半世紀を超える歴史があり、東北有数のレタス産地です。現在は、農家個別の課題を産地全体で取り組み、安定品質の出荷や収量向上に繋げ、農家所得と産地力の向上を目指しています。